

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8237
担当部課名	経済部	産業振興	課	工業振興 班
事務事業名	中小企業緊急経営相談事業		事業コード	31210

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	立地特性を生かした産業の振興をめざします	事業開始年度
基本施策名	第2節	中小企業の育成	11年度
施策名	第1施策	経営安定化と経営革新の支援	

2 実施根拠及び関連法令等

--

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
中小企業を取り巻く経営環境が大変厳しい現在、企業の経営安定化を図るとともに健全な発展の一助とするため、臨時応急の措置として中小企業診断士訪問による経営相談・診断を行った。		市内中小企業者	
		対象数	102
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
市内6工業団地協同組合員企業82社に中小企業診断士が訪問し、財務状況等に基づく経営診断や相談を行った。		中小企業経営相談の充実	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度～年度

4 評価指標

指標名	経営診断・相談受診率		
指標式	診断等受診企業÷対象企業数		
指標設定の意図	経営診断等受診率により成果を表す		

5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標			a 80	b 100	
指標			c	d	
指標			e	f	
事業費	決算(予算)額	2,608	8,955	5,213	5,213
	人員・時間数	(50H)	(150H)	(50H)	(50H)
	人件費	209	627	209	209
	その他経費				
	合計	2,817	9,582	5,422	5,422
	特定財源	2,608	8,955	5,213	5,213
					0

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 B ▼	A:達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 80.0%	
	B:一部達成していない(100%> 80%)		
	C:達成していない (80%>)		
$\frac{a}{b}$	$\frac{80.0}{100.0} \times 100 = 80.0\%$	$\frac{c}{d}$	$\times 100 =$
$\frac{e}{f}$	$\times 100 =$		
理由:	経営診断等受診対象企業全社の実施を予定したが8割程度にとどまったため。		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 B ▼	A:適応している	理由:	各企業とも様々な要因により受注量が減少している状況下では、自社の財務状況等を正確に把握し改善するための専門家の診断は必要である。しかし、現状は内部改善以上に受注増に直結する支援策も必要となっている。
	B:一部適応していない		
	C:適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 B ▼	A:妥当である	理由:	中小企業診断の専門家である診断士が財務資料等をもとに詳細に行ったので、受け止める側が真剣である場合には、かなりの効果があると考えが、82社全てが真剣であったとは受け止められない。
	B:一部妥当でない		
	C:妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 B ▼	A:代替の可能性ない	理由:	この事業は相模原商工会議所への委託事業として実施した。既に同会議所では各種相談を行っているが、企業への訪問による経営診断を行うためには、市の支援が必要である。
	B:代替の可能性低い		
	C:代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 B ▼	A:満足できる	理由:	自社の状況を客観的に認識し、改善点がある程度把握できたという面では、多少の満足は得られたと考える。しかし、企業が現在求めているのは受注が増加することであるので、その点では満足度は低い。
	B:一部満足できない		
	C:満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 B ▼	A:有効である	理由:	中小企業が社会経済環境の変化に的確に対応するための、判断材料の提供がある程度はできたと考えるので、中小企業育成の一助とはなった。
	B:一部有効である		
	C:有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	成果向上の余地	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	説明: 診断を受ける側の真剣さが高い効果を生むと考えるので、企業にそれを十分理解してもらうことが必要である。
	コスト改善余地	
	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	説明: 委託事業として実施しており、 unnecessary 費用はかけていないと考える。

7 総合評価

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較	
今後の進め方		説明	本事業は平成13年度で終了したものであるが、経営診断の重要性を事前に企業側に理解してもらうことが必要であったと考える。
<input type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input checked="" type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--